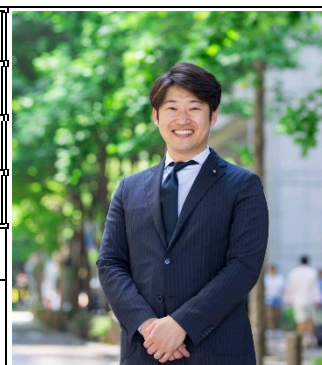


地域活性化伝道師プロフィール

分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	○	農・林・水産業	◎
	地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	◎
	地域コミュニティ・集落再生		環境	
	地域交通・情報通信		まちづくり	
ふりがな		かなやま ひろき		
氏名		金山 宏樹		
所属	名称	株式会社シカケ/一般社団法人 道の駅経営パートナーズ		
	役職	代表取締役/理事		
連絡	住所 (職場)	〒 -		
	連絡先	e-mail	18[アットマーク]shikake.co.jp	
		TEL -	FAX -	
	連絡方法	E-Mailでお願いします		
略歴	<p>昭和 58(1983)年、兵庫県南あわじ市(淡路島)生まれ。地元高校を卒業後、淡路人形芝居(淡路人形浄瑠璃)を公演する淡路人形座に人形遣いとして5年間従事後、島の観光施設に1年間勤務。その後、大阪・東京の会社の営業職に就く。平成 24(2012)年5月島に戻り、「道の駅」「観光施設」の運営をする南あわじ市出資の第三セクター会社に入社。EC 事業部を経て平成 26(2014)年6月より飲食事業部の取締役就任。会社の業績を新規事業なしで4年間に 181%伸ばした実績から、全国からの視察の絶えない「道の駅」「観光施設」になっている。</p> <p>平成 29(2017)年7月同社を退社。ブランディング、集客をしたい全国の自治体、事業者を支援するため、株式会社シカケを設立。“道の駅再生請負人”として「行きたくなる」飲食店の仕掛け、「買いたくなる」商品開発、「お買い場づくり」の手法やそれらを「仕掛け続けられる、チームづくりのプロデュースやセミナーをおこなっている。平成 30(2018)年 11 月、一般社団法人 道の駅経営パートナーズ(旧:一般社団法人 全国道の駅支援機構)理事就任。</p>			
著作・論文等				
取組概要	<p>淡路島の観光施設の売上を、ほぼ“多店舗化なし”の状態に4年間に8億円から14億5千万円伸ばした実績から、その施設は全国からの視察、メディア露出の絶えない観光施設になっている。「行きたくなる」飲食店の仕掛け、「買いたくなる」お買い場づくりの手法を開示するセミナーやコンサルティングをおこなっている平成 31(2019)年4月からは、北海道鹿部町-しかべちょう-に現地法人をチームで設立し道の駅しかべ間歇泉公園の経営に参画。赤字の道の駅を黒字化し、指定管理料の削減にも着手。令和4(2022)年4月には取締役を退任し、現在は顧問となり組織のサポートに。その他、いくつかの法人への出資、かつ取締役に就任し経営を</p>			



※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	サポート。令和4(2022)年6月には、テレビ東京「日経スペシャル ガイアの夜明け」に出演。
メッセージ	<p>道の駅再生請負人／地域資源プロデューサー</p> <p>それぞれの地域には、まだ広く知られていない素敵な“宝物”が必ず存在します。私は、その土地ならではの魅力や物語を、時代やトレンドに合わせて魅力的かつ戦略的に表現・制作し、人々が「行ってみたい」「体験してみたい」と思える“仕掛け”を生み出すことを得意としています。</p> <p>全国には現在、約1,200の道の駅が存在し、その多くは地域の観光・流通拠点として重要な役割を担っています。運営主体として多く見られるのが、全国に5,000を超える第三セクター(公民連携の法人)です。しかし現実には、多くの施設が赤字経営や運営課題を抱えており、「人が集まらない」「売上が伸びない」「働くチームが機能していない」といった問題が各地で顕在化しています。</p> <p>私はそうした現場に入り、赤字を黒字へと転換する再生プロジェクトを構築・実行することも、近年の重要なミッションと位置づけています。正しい手順を踏めば、どんな現場も必ず再生できる——その信念のもと、全国の道の駅や第三セクター施設、民間企業と向き合いながら「再生」の実績を積み重ねてきました。</p> <p>自治体や運営事業者が一歩先の展開をめざす際には、コンセプト設計からチームビルディング、プロモーション、商品開発、空間づくり、経営改善に至るまで、地域の可能性を引き出し、成果につなげる総合的な支援を行っています。</p> <p>道の駅を中心とした地域活性化において、再生・進化・発信の各フェーズで伴走し、地域と共に次の未来を描くこと。それが私の使命です。</p>
関連ホームページ	https://www.shikake.co.jp
活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。